

1. 相川湿地の整備や野外観察会

(1) 相川湿地整備

今年度も令和元年12月にボランティアによる湿地整備を行いました。

実施日：12月15日（日） 8:30～15:00

参加者：総勢42名

長崎大学教育理科（教員1名、学生8名） 長崎共育森のわ（10名）

時津幼稚園職員（6名） 長崎北高校職員関係（4名） 長崎女子短大教員（1名）

長崎市職員（4名） 相川自治会（8名）

例年より参加者も多く作業は非常にはかどりました。湿地全体の整備は難しいので、観察に適し、比較的産卵が多数見られる3面の場所で実施しました。



スコップ等の人力で産卵場所の水場を作っているところ



作業終了後の記念撮影

(2) 産卵されたニホンアカガエルの卵塊



整備した止水域には多くのニホンアカガエルの卵塊が見える（2020年1月24日撮影）

(3) 野外実習

今年度も下記の3団体で野外実習を実施しました。

令和2年1月25日(土)	長崎大学教育学部3年生中等理科教育 学生8名、教員1名
令和2年2月11日(火)	共育コミュニティー 森のわ スタッフ:7名 参加者:23名(長商放送部3名) 相川自治会:1名
令和2年2月14日(金)	時津幼稚園年長組 引率者:8名 園児40名

※ 産卵状況

ニホンアカガエルの卵塊数は約300卵塊で例年の半分程度でした。産卵は1月が中心であったため、2月の実習では新しい卵塊を少ししか観察することはできませんでした。また、カスミサンショウウオの卵塊がまったくなかったり、アカハライモリが見られなかったりと、湿地の環境悪化が懸念されています。

(3) - 1 令和2年1月25日：長崎大学教育学部



初めて触ったカエルの卵塊
ニホンアカガエルの卵塊に触れて
いる様子。ほぼ全員が将来理科の
先生になる予定なので、いい経験
ができたと思います。

(3) - 2 令和2年2月14日：時津幼稚園

前日にカエルの授業を実施し、カエルやその卵塊・オタマジャクシについて十分に理解していたので、観察会での園児の動きは実にスムーズでした。本物に触れるという原体験は将来絶対に生きてくると思います。



前日のカエルの授業で学んだことを、自然の中の本物で観察中



時津幼稚園 かえる教室 令和2.2.14

時津幼稚園年長組全園児と全教職員、相川自治会の方々、観察会終了後の満足した笑顔

(4) ニホンアカガエル人工増殖の取り組み

ニホンアカガエルの産卵数が年々減少しており、今年度は約 300 卵塊でありました。5～6 年前までは 1000 卵塊を超えていたので急激な減少となっています。この傾向は、3 年ほど前から見られ、危惧しているところでもあります。そのため、今年から、卵塊 10 個を自宅に持ち帰り、人工的な幼生の飼育を試み、変態直前に相川湿地に戻すこととしました。多数の幼生は 3 月 1 日現在、順調に成長しています。



令和 2 年 2 月 10 日撮影：卵塊 10 個を持ち帰り自宅の大型水槽で飼育中



令和 2 年 2 月 29 日撮影：餌のホウレンソウをよく食べて元気に成長中

2. 相川湿地以外の調査結果

毎月一カ所の地点を決め、歩きまわりながら目撃できる両生類・爬虫類・哺乳類を調査しています。

(1) 長崎市琴海長浦手先地区（4 月）

爬虫類：ニホンカナヘビ、ニホンヤモリ、アオダイショウ

両生類：ニホンアマガエル、ヌマガエル

哺乳類：イノシシ、アナグマ、テン、イタチ属の一種

(2) 長崎市本河内御手水と奥山地区（5 月）

爬虫類：ニホントカゲ、アオダイショウ、シマヘビ黒化型、

ミシシippアカミミガメ

哺乳類：イノシシ、テン、イタチ属の一種（糞）、アナグマ、タヌキ

(3) 長崎市相川湿地 (6月): ヘイケボタル調査

ヘイケボタル: 昨年より少し少なく(100 頭前後) 特に、林縁部に多数の個体が生息。

両生類: アカハライモリ、ツチガエル、ニホンアマガエル

※手熊地区の放棄水田跡: ヘイケボタル 7 頭を確認しました。

黒崎永田湿地: ヘイケボタルは確認できませんでした。

(4) 長崎市野母崎町樺島 (7月)

両生類: ニホンアマガエル (畑地にあるため水用の風呂桶の中)

爬虫類: ニホントカゲ (成体 1)、ニホンカナヘビ (成体 1)

哺乳類: タヌキ (ため糞が多い)、イノシシ、イタチ属の一種



道路上のタヌキのため糞
樺島全域に多数見られます。
特に灯台付近に多い状況です。

(5) 母子島・大墓島 (8月)

母子島 哺乳類: イノシシ、タヌキ

大墓島 爬虫類: ニシヤモリ (卵塊、成体)



ニシヤモリの卵塊
成体も確認しましたが、写真撮影
はできませんでした。

(6) 長崎市三ツ山町六枚田付近 (9月)

両生類：ヌマガエル、ニホンアマガエル

爬虫類：ニホンカナヘビ、ニホントカゲ、ニホンヤモリ、ヤマカガシ

哺乳類：イノシシ、カヤネズミ



カヤネズミの球巢
イネの葉を集めて球状の巣をつ
くります。この写真は作成途中
で放棄したものと思われます。

(7) 長崎市小江原町・県民の森 (10月)

小江原町

両生類：ニホンアマガエル、ヌマガエル

爬虫類：ニホンヤモリ

哺乳類：イタチ属の一種

県民の森

両生類：ニホンアマガエル

爬虫類：ニホントカゲ、ニホンカナヘビ

哺乳類：テン、イタチ属の一種、イノシシ、アナグマ



ニホントカゲ
道路脇の崖地で、日光浴中。
少し冷え込んでいたためか、日光
浴に夢中で動かなかったため、ゆ
っくりと撮影することができまし
た。

(8) 長崎市市民の森 (11 月)

爬虫類：ニホンヤモリ、ニホンカナヘビ

哺乳類：コウベモグラ、テン、アナグマ、イノシシ、ノウサギ



アナグマの糞

少し隠れた場所にあるアナグマの糞。
タヌキは目立った場所で糞をしますが、アナグマは謙虚に端の方に。

(9) 長崎市相川湿地 (12 月)

12 月 15 日、多くのボランティアに集まっていただき湿地の整備を行いました。

詳細は 1 ページに記載しています。

(10) 相川・あぐりの丘・岩屋神社調査 (1 月)

相川湿地

ニホンアカガエルの卵塊約 100 個を確認しました。

あぐりの丘

ニホンヒキガエルの抱接個体、雄単独個体、卵塊を確認しました。

岩屋神社

カスミサンショウウオの卵塊を確認しました。



ニホンヒキガエルの抱接

あぐりの丘で観察しました。
一頭の雌に何頭もの雄が群がり奪い合っています。

1 月に産卵した卵は、幼生として 5 月まで成長し、その後、変態して上陸します。

(11) 相川湿地野外実習 (2 月)

野外実習を 2 団体で実施しました。

(12) 零海町尾戸半島 (3 月)

調査実施予定です。